

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リハこどもデイ フクシア				公表日	2025年5月6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	ロールカーテンやパーティションを利用し、視覚的に仕切ることによって目的別に環境を整備している	目的に沿った適切な活用を行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	急な休みに対応できるよう余剰人員を確保している。	人員基準を順守し、職員を配置していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	訓練室は広く、柱があるため死角ができる	設備に関して、視覚的なアプローチや、危険が予測される場所に対する環境整備を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	建物は古いですが、掃除や手作り壁面などで、明るく、可愛く、環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	概ね出来ている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	勉強会などの開催	ミーティング、朝礼時にPDCAサイクルを行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	評価表に記載されているご意見を参考に業務改善を実施する	アンケートや、満足度の調査を活かし、業務改善に活かしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	概ね出来ている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	外部評価は受けていません	今後は第3者評価を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	専門職の職員が今後の技術向上のための研修は開催されています。	定期的な研修、伝達講習を行う。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	HPやSNSを利用して、公開している	事業所ホームページに掲載し、今後の展開も含め具体的な行動指針を掲げる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	2	利用児や保護者のニーズ把握や課題分析を専門的に行っている	利用児、保護者のニーズに沿った計画を各専門分野からの意見も踏まえ作成する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	定期的にカンファレンスを実施	カンファレンスや症例検討などの機会を増やし、継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	概ね出来ている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	セラピストによるアセスメントを実施	保育士や介護福祉士等もアセスメントをしっかりとするようにしていきたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	概ね出来ている	状況の変化に合わせて緊急ミーティングを行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	概ね出来ている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	概ね出来ている	季節などに合わせて工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	概ね出来ている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	毎日の朝礼時に確認をしている	各専門分野の役割を明確にし、動きの確認を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	職員により勤務時間が異なるので、共有が必要な事項は、申し送りノートを活用している。	申し送りノートを活用し、休みの職員にも情報共有が出来るようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	概ね出来ている	個人カルテや日誌、申し送り表等の記録をもとに、さらに利用児に関する療育などにうまくつながるように改善していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	概ね出来ている	定期的にモニタリングを行い発達、成長に合わせた見直しを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	概ね出来ている	パターン化しないように個々の能力に応じて内容を設定している。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	概ね出来ている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	概ね出来ている	オンライン会議など感染状況に応じて柔軟な対応が必要となっている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	概ね出来ている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	随時、実施できている	学校ごとに行事予定や下校時刻予定を受け取り、ダブルチェックで確認している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	特に新1年生の場合は保護者同意のもと情報をいただくようにしている。	連携が取れる関係機関と取りにくい関係機関があるため、相互理解を深めて連携しやすい関係を構築するように努力します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	保護者同意のもと会議への出席や書面での報告を行っている	今後も連携を継続できるよう努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	専門機関が主催する定例会や研修に参加してコミュニケーションをとっている	地域や、専門機関との連携強化の為に連携会等の参加を積極的に行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	地域の公園で同世代のお友達と一緒に遊べるようにしている	児童クラブなどに足を運ぶことはないが、地域の公園などで、関わることはある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	地域で部会や会議が行われていない	今年度も開催されるかは不明
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	主に送迎時に伝えている。	毎日の送迎や連絡帳を通じて報告しているが、さらにコミュニケーションの機会を増やしていきたい
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	実績なし	今後はペアレント・トレーニング支援を検討していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明している	契約時に説明している
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2	概ね出来ている	いつでも連絡がとれるよう体制を整えている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	概ね出来ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	基本的に管理者が応じている。必要に応じて、セラピストから専門的な助言を行う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	2	親子交流イベントなどを開催して機会を作っています。	父母会等に対応する支援や保護者同士の連携を支援できる体制を整えていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	基本的に管理者が対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	SNSを利用し、行事予定や日頃の様子など発信している	不定期ではあるが、HP、Instagramなどで発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	概ね出来ている	個人が特定されないようにSNSやHPでの画像にはモザイク処理を施しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	評価をしっかりと行い対応する	個々に合わせた意思疎通、情報の伝達ができるように心がけていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	こども食堂の開催	食中毒やO157など予防策を講じながら実施している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	DVD教材を使用して災害時教育を行っています。	マニュアルは作成しているが、周知が十分ではない為、いつでも見れるような所に置いておく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	概ね出来ている	8月と2月に避難訓練（火災、地震、津波）を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	2	随時、保護者さんより連絡があったりすると職員間で共有させていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	医師からの指示書や保護者からの連絡で把握している	主治医と相談のうえ対応、対策を講じていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	概ね出来ている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時に説明している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	毎月リスク会議を開催しており、情報共有・対策検討はしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	勉強会や研修への参加	研修の機会を増やしていきたい
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	実績なし	主治医と相談のうえ対応、対策を講じていきます。	